

2025 年度インターンシップのご案内

原子燃料工業では毎年、学生の皆さんに就業体験を通して、原子力産業の理解を深めていただく機会として、インターンシップを開催しています。

原子力業界に興味のある方はもちろん、原子力とは？と思っている方、原子力は総合科学の結集であり、原子力系はもちろん、物理、化学、機械、電気、材料など、様々な分野のエンジニアに活躍の場があります。

また、「会社ではどのように仕事を進めているのか」、「社会人になった生活を知りたい」など、様々なご要望にお応えできるよう、長期、短期と幅広いテーマをご用意しています。

多くの方のご参加を心よりお待ちしております。

記

1. 会社概要

会 社 名： 原子燃料工業株式会社

創 立： 1972 年

資 本 金： 32.5 億円

従 業 員： 約 570 名

事業内容：原子力発電所で使用する原子燃料（ウラン燃料）を設計開発・製造しているほか、発電所における検査機器の開発・製造、原子力施設やその他公共施設の非破壊検査の開発・実施など、幅広く事業を展開しております。

政府の GX（グリーントランスフォーメーション）政策の実現に向け、高品質なモノづくりとエンジニアリング技術で躍進しております。



原子燃料工業サイト

主要取引先：東京電力、関西電力、九州電力、四国電力、中国電力、中部電力
東北電力、北海道電力、日本原子力発電、日本原燃、JAEA 他

2. インターンシップ内容

（1）期間及び給与

長期：4～10 日間 日給：8,700 円 ※ 1 日（7 時間 45 分）

短期：2 日間 日給：なし

日程は『別紙- 1 』をご確認ください。日程が合わない場合はご相談させていただきます。



インターンシップサイト

(2) インターンシップのテーマ

長期（研究型インターンシップ）、短期のテーマを複数ご用意しております。
詳しくは『別紙- 1 』を参照ください。

(3) 場所

次の事業所にお越しいただきます。

熊取事業所（大阪府泉南郡熊取町朝代西 1-950）

JR 阪和線・熊取駅よりタクシーにて約 10 分

泉大津工場（大阪府泉大津市河原町 7-5）

南海本線・泉大津駅よりタクシーにて約 5 分

東海事業所（茨城県那珂郡東海村村松 3135-41）

JR 常磐線・東海駅よりタクシーにて約 5 分

(4) 宿舍

ビジネスホテル等を無料で用意いたします。（食事費は個人負担願います。）

(5) 交通費

実費支給します。

(6) 参加申込書類

『インターンシップ申込書』（別紙- 2）

(7) 申込先

Email : intern@nfi.co.jp に書類を添付の上、お申込みください。

(8) 申込期限

申込期限：5月31日（土）

上記参加申込書類の審査の上、実施を決定させていただきます。

申し込みテーマが重複した場合は、別テーマをご提案させていただく場合があります。

実施が決まりましたら、各担当者よりご連絡させていただきます。

申込期限を過ぎた場合でも、ご相談させていただきますので、intern@nfi.co.jp へ
ご連絡いただけると幸いです。

3. その他

『行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律』により、給与に対する税務関係の事務手続においてマイナンバーが必要になります。
長期インターンシップの実施が決まった方につきまして、マイナンバー（個人番号）情報の届出をお願いすることになりますので、担当者よりご案内させていただきます。

4. 連絡先

ご不明な点がございましたら下記担当までお気軽にご相談ください。

原子燃料工業株式会社 人事総務部 山田、柿崎

住 所： 〒230-0051

神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央4丁目33番5号TG鶴見ビル3階

T E L： 045-500-6300

Email： intern@nfi.co.jp

U R L： <https://www.nfi.co.jp>

以 上

2025年度インターンシップ テーマ一覧

原子燃料工業株式会社

別紙-1

No.	区分	実施テーマ	概要	対象	実施場所	実施日	実習期間
1	施設管理 (設備保全)	電力監視システムの立案	当社では、経費削減、カーボンニュートラルの実現を目指し、生産設備の節電対策を模索しており、トランス単位で監視しているデマンド値を、将来的には設備単位で監視し、節電効果を上げたいと考えている。 本テーマでは、特定の設備をターゲットとした消費電力の監視方法の検討と、監視結果から得られた情報を元に節電方法を考察するところまでを実施する。	大学院生 大学生	熊取事業所	①8月04日(月)～08日(金) ②8月18日(月)～22日(金) ③9月01日(月)～05日(金) ④9月08日(月)～12日(金)	長期:5日間、 若しくは10日間 (10日間の場合 ③+④)
2	生産技術 (検査・分析)	ペレット寸法密度測定装置のソフトウェア検証	製作中のペレット寸法密度測定装置のソフトウェア(プログラム)の検証作業を実施頂く。ペレットの寸法(直径・高さ)及び重量をそれぞれ計測し、密度を計算にて求め、この計測及び計算を担うソフトウェアの動作に不具合のないことを確認する。また、計測および計算の結果は、あらかじめ設定された基準と比較され、合否判定を行うことから、この判定に間違いのないことも確認する作業を実施いただく。	大学生	熊取事業所	①8月04日(月)～08日(金) ②8月18日(月)～22日(金) ③8月25日(月)～29日(金)	長期:5日間、 若しくは10日間 (10日間の場合 ②+③)
3	生産技術 (検査・分析)	ペレット寸法密度検査装置の改良のための基礎実験	ペレットの寸法密度の検査に必要なペレットの直径、高さ及び重量を個別に測定していたものを同時に測定できるように改良するための基礎実験を実施。本テーマでは、試作中の治具の上にペレットを載せて、ペレットの寸法(直径・高さ)及び重量を計測し、この計測結果に基づき、ペレットの寸法及び重量を同時かつ正確に計測できる治具の改良を検討、実施頂く。	大学院生	熊取事業所	①8月04日(月)～08日(金) ②9月01日(月)～05日(金) ③9月08日(月)～12日(金)	長期:5日間、 若しくは10日間 (10日間の場合 ②+③)
4	生産技術 (設備設計)	A I 物体認識やロボット制御技術を用いたBWR燃料 スペーサ自動組立装置の概念設計	BWR(沸騰水型原子炉)燃料集合体の構成部品であるスペーサは、重要な機能をもつ多数の部品を溶接して組み立てる必要があり、従来の手作業では、部品の取付方向を間違えたり損傷させたりしないよう、品質確保のため多くの時間と労力を要している。この問題を解決するため、AIによる物体認識や最近の産業用ロボット制御技術を用いた自動組立装置の概念設計を行う。	大学院生	泉大津工場	①8月04日(月)～08日(金) ②8月18日(月)～22日(金) ③8月25日(月)～29日(金) ④9月08日(月)～12日(金)	長期:5日間、 若しくは10日間 (10日間の場合 ②+③)
5	燃料開発 (核設計)	PWR MOX燃料設計に関する検討	MOX(ウラン・プルトニウム混合酸化物)燃料は燃料仕様(Pu/U組成や高/中/低Pu富化度分布)が変わると、炉心に装荷した際の炉心特性(出力ビーキング係数、燃料棒燃焼度)が変化する。 本テーマでは、PWR(加圧水型原子炉)炉心を対象としてMOX燃料を炉心に装荷した際の炉心特性に関する検討を行う。具体的には、燃料仕様の異なるMOX燃料を用いて燃料装荷パターン作成を行い炉心特性及び燃料装荷パターン成立性の観点から燃料仕様の違いの影響について検討する。	大学院生 大学生	熊取事業所	①9月17日(水)～18日(木) ②9月18日(木)～19日(金) ③9月24日(水)～25日(木) ④9月29日(月)～30日(火) ⑤10月01日(水)～02日(木)	短期:2日間
6	燃料開発 (安全解析)	CFD(数値流体力学)解析を用いたPWR燃料集合体の 設計検討	PWR(加圧水型原子炉)燃料集合体に使用される支持格子と呼ばれる部材には、混合羽根を設置して燃料集合体周辺を流れる冷却材を攪拌し、除熱を促進する機能を持たせている。本テーマでは、CFD(数値流体力学)解析を用いて燃料集合体周りの冷却材流れ及び伝熱挙動を評価し、より効率的に除熱できる支持格子の設計を検討する。	大学院生 大学生	熊取事業所	①9月17日(水)～18日(木) ②9月18日(木)～19日(金) ③9月24日(水)～25日(木) ④9月29日(月)～30日(火) ⑤10月01日(水)～02日(木)	短期:2日間
7	施設管理 (規制対応)	原子力規制に対する事業者の安全維持、向上に係る 業務	ウラン取扱施設における安全維持活動の一つである改善措置活動(CAP委員会:Corrective Action Program委員会)へ出席し、事業所における安全維持活動を実体験する。また、事業所核燃料取扱主任者の施設巡視に同行し、原子力規制庁の要求に対する保安業務を経験する。	大学院生 大学生	東海事業所	①8月19日(火)～20日(水) ②8月26日(火)～27日(水) ③9月01日(月)～02日(火) ④9月09日(火)～10日(水) ⑤9月16日(火)～17日(水) ⑥9月25日(木)～26日(金) ⑦9月29日(月)～30日(火) ⑧10月01日(水)～02日(木)	短期:2日間